

令和5年11月10日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 大村泰史
島田市議会議員 横田川真人
島田市議会議員 青山真虎
島田市議会議員 大石節雄
島田市議会議員 八木伸雄
島田市議会議員 桜井洋子

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 令和5年11月4日（土）
午後6時00分～午後7時40分
- 2 会場 ささまふれあいの里
- 3 参加者数 24人（男性22人（うち高校生1人）、女性2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 全員
 - (2) 司会 大石
 - (3) 挨拶（概要）大村
 - (4) 報告 厚生教育常任委員会 横田川
経済建設常任委員会 青山
総務生活常任委員会 八木
 - (5) 答弁 全員
 - (6) 記録 桜井

5 報告事項

(1) 議会活動の報告について

① 厚生教育常任委員会

令和4年度一般会計決算認定については、重要案件である①放課後児童健全育成事業 ②学校施設整備事業 ③学校給食運営事業についての報告。市への提言として、学校施設の維持修繕について適切な予算措置を、原材料費の高騰分を学校給食の保護者負担増ではなく市負担で対応することを求めた報告。

令和5年度一般会計補正予算については、放課後児童クラブの利用料金と待機児童解消のためのクラブの増設、GIGAスクールでの端末故障の対応について報告。

② 経済建設常任委員会

特に笹間地区に関係している事項として、令和5年度一般会計補正予算中、みどりの食料システム戦略推進事業について、国の方針、病害虫が出たときの補助（JAの救済制度）、2050年までに農薬50%減目標等具体的な内容の報告。

台風15号、台風2号の被害状況と復旧状況について、特に黒俣、日掛林道について報告。

③ 総務生活常任委員会

令和4年度一般会計決算認定については、重要案件である①シティプロモーション推進事業中、東京駅でのアンテナショップの取り組み報告 ②窓口受付等包括業務委託事業の実際について ③コミュニティバス運行事業にかかわる運行管理経費等について報告。市への提言として、シティプロモーション推進事業、移住・定住促進事業に効果的なネット公開、閲覧の運営を求めたことを報告。

④ 報告に対する質疑

- Q 川根支所の窓口業務委託について、住民票を取るのに時間がかかった。後ろの職員に聞いている。素早い業務を求める。
- Q バスの運行について、以前、バスと燃料は市で負担するが、人件費は出ないと言われた。責任ある中でやることは難しい。定時の運行でなく、予約して乗るようなデマンド型等この地域に合ったやり方を提案してほしい。
- A コミュニティバスがいいのか、福祉的なものがいいのか、手法と効果について大きな研究課題であると認識している。先進地の事例も参考にしていく。

(2) 意見及び情報の交換について

今回のテーマ「この地域で住み続けるためには何が必要か？」

- Q これまで過疎地域の指定があった。令和8年度に卒業地域になることが決まった。後期基本計画に中山間地域の振興と明記されている。議会でも「中山間

地域の振興に関する特別委員会」があったが、今後の政策の見通しは。

A 特別委員会の提言の下、条例制定を含めて、中山間地の指定（振興施策体制）や振興計画を作る等これからつき進めていく。先進地事例も参考に。

A 過疎計画がなくなる前に、笹間地区は辺地指定を受けているので、振興策をしっかりと進めるように伝える。

A コミバスはどうか、茶業はどうか等一つ一つ具体的な山間地の個別政策で要求していくことが重要だ。

Q 議員はみんな中山間地域に関心があるか。

A 皆関心を持っている。中心市街地は立地適正化計画を作ったが、その周りの中山間地域をどうするのかを考えていくことは重要だ。

Q この地域は、少子高齢化が進んでいる。簡易水道がないところの、水源の問題がある。市で何とかしてもらいたい。移住者を受け入れるためにも、水の安定が一番大事。大雨で水が濁る。山の水源地に行って補給する人がいなくなる現実をどう見ているのか。

増え続ける空き家をどうするか、空き家バンクにもっと力を入れてほしい。

A 水の問題では、簡易水道から上水道になった。独立採算制で水道料金をもって、管理している。給水組合に対して、ろ過装置への補助あるが、管理は地元で自主管理していただくことになっている。大変な現実がある。水の在り方について、現状を知り議論が必要だ。

A 土砂崩れで水源が埋まって、ろ過するための復旧が大変だった。市の補助制度はあるが、住民が求める要求は市へ伝えたい。

Q この地域に何が必要か、何が大事かについて、議会報告会では聞くだけになってしまう。何を言ったらいいか、どういう言葉を使ったらいいのか聞くだけで過ごしてしまう。もっと気楽に、地元での意見が聴けるような雰囲気にして、ざっくばらんに話し合いたい。

A 今、議会改革特別委員会では、もっと少人数で、意見が言いやすく聞きやすい形の議会報告会・意見交換会のやり方を検討している。皆さんの意見を政策に反映させていくためにも必要な改革だ。

Q 有機農法を25%にしたいとのことだが、やった結果どうなることを出口としているか。

A 国は、農薬、除草剤を使わずに次世代にクリーンな土地を手渡そう、守っていかうという方針だ。

Q これからも台風の被害は予想される。黒俣、林道が被害にあって通れないと困る。トンネルを作ってほしい。静岡側から通れないなら、島田側から回れるように早めの看板を設置して、知らせてほしい。

Q 昨年、台風 15 号の後の被害地視察で、市長が「こんな不便なところよりも便利な街中に引っ越せば」という発言があったらしい。

Q 農業の後継者がいない。国、県、市の補助事業で最初は視察に来るが、数年経つとほったらかし。その後どうなったか市も行政もチェックしてほしい。

Q 道路は福祉だと思っている。黒俣は大事な生活道路で、一日も早く島田側だけでなく、静岡市側も通れるようにしてほしい。

Q この地に住み続けるためには移住者がいないと地域に活気が出ない。若い人が必要。観光 PR をもっとして、まずは知ってもらい、住んで働きたいと思ってもらう。SNS・インターネットの活用が大事だと思う（高校生より）

A 中山間地域を住みやすくするためには、水道、バス等様々な個別案件が出てきた。それを行政に伝え、「お金がない」という。それらを解決するためには、中山間地域の振興を行政側に認識させなければならない。それが条例だったり、専門の窓口を設置させることも。それらをやった先に行政が目を向けるようになる。そして予算がつく。個別の案件もクリアできていくのではないか。議会全体としては、時間はかかるかもしれないが、まずは行政側に目を向けてもらうことが重要だと考える。個別案件については、行政側に皆さんの声をどんどん届けていくことが大事だ。

A 中山間地域、笹間の魅力を SNS やインターネットなどで地域の皆さん、議員も大いに発信していきましょう。

Q 過疎地域発展計画の進捗状況を議会としてチェックしてほしい。計画を実行すれば住み続ける地域になる。費用対効果の新しい指針を作ってほしい。

(3) 市等への要望事項

- ・ 笹間地区に市の施策の浸透や地域課題に対応する職員を配置してもらいたい（沼津市の例）
- ・ 旧笹間中学校の処分方法を検討してもらいたい

6 まとめ（所見）

笹間地区の皆さんの積極的なご意見・ご要望がたくさん出され、中山間地域が抱える問題が浮き彫りになった。その願いを実現するために、中山間地域の振興に関する特別委員会が先に提出した3項目の提言の進捗が求められる。また、個別案件は今後の議会、議員活動での検討材料としたい。女性2人、高校生1人を含む24人の参加を得て、有意義な意見交換会となった。